

基礎・工法・構造

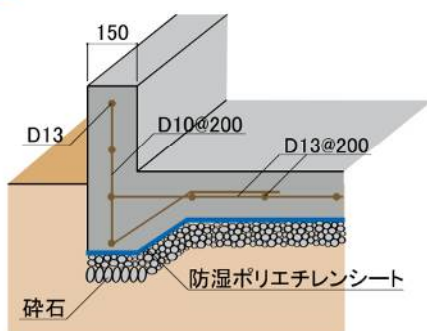
住まいは家族が心豊かに暮らすもの
そのお手伝いを致します



● 地盤調査：スウェーデン式サウンディング試験

スウェーデン式サウンディング試験は、荷重による貫入と回転による貫入を併用した原位置試験であり、土の静的貫入抵抗を測定し、その硬軟又は絞まり具合を判定すると共に、土層構成を判定することを目的としています。

● 基礎：ベタ基礎



強固なベタ基礎、基礎幅 150mm などを採用し、耐久性や強度に優れた家づくりを、心がけております。いつも安心して暮らせる住宅を提供し続けます。



■基礎パッキン
土台の腐食、シロアリの繁殖を防ぎます



■アンカーボルト
基礎と土台等の緊結に使用します



■鋼製束
床束として使用します

● プレカット



骨組み加工はプレカットを採用し、高度なクオリティをもつ住宅を、より短時間で供給できるよう努力しております。プレカットにより加工の均一化が可能となり、精度において0.1mmの正確さまでコントロールできます。また、様々な資材、部材にも対応でき、お客様の多様なニーズにもお答えできます。木材の大半を工場生産にシフトチェンジしている為、今までのように職人による品質誤差を解消し、均一なレベルの住宅を提供します。

● 接合金物



■タル木どめ



■幅広短冊金物



■幅広短冊金物



■ビス止めホールダウン



■スリムプレート



■スリムプレート



■スリムプレート



■ホールダウンコーナー

● 集成材の特性

特徴

従来木材（無垢材）とEW（エンジニアリング・ウッド）の比較すると、無垢材は狂いが生じ変形（伸縮）し易いので、造作後、多部に渡ってヒビ、すきま、床なり等の問題が生じ易い。EWを使用することで、低減出来ます。

耐久性

集成材に使用される接着剤の性能向上により管理条件が整えば、半永久に保つことが可能。

防火性能

断面積を大きくすることにより、1000度以上になっても必要強度が保たれます。